

科目名	予防指導 2							年度	2025
英語科目名	Preventive guidance 2							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	後藤晃弘	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		
【科目の目的】 環境や行動を社会的に整え国民の健康を守る社会防衛機能としての保健医療活動を学ぶことも柔道整復師の責務の一つであるため、この科目を通して公衆衛生分野の知識を習得することを目的とします。									
【科目の概要】 健康に生活する上で必要な知識と情報を学びます。									
【到達目標】 柔道整復師が予防と健康増進にいかにかかわることができるかを各項目ごとに学ぶ。予防指導は、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学・技術であり、学ぶ内容としては環境衛生、感染症予防、健康教育、医療・看護サービスによる疾病の早期診断と悪化防止、衛生行政、医療制度および社会保障などを理解することが到達目標となる。									
【授業の注意点】 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度(私語・飲食・居眠り)には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	感染症の各病原体の特性について完全に理解している。	感染症の各病原体の特性について大体理解している。	感染症の各病原体の特性について部分的には理解している。	感染症の各病原体の特性について理解がやや不足している。	感染症の各病原体の特性について理解していない。				
到達目標 B	感染症法や予防接種法について完全に理解している。	感染症法や予防接種法について大体理解している。	感染症法や予防接種法について部分的には理解している。	感染症法や予防接種法について理解がやや不足している。	感染症法や予防接種法について理解していない。				
到達目標 C	物理的消毒法について完全に理解している。	物理的消毒法について大体理解している。	物理的消毒法について部分的には理解している。	物理的消毒法について理解がやや不足している。	物理的消毒法について理解していない。				
到達目標 D	化学的消毒法について完全に理解している。	化学的消毒法について大体理解している。	化学的消毒法について部分的には理解している。	化学的消毒法について理解がやや不足している。	化学的消毒法について理解していない。				
到達目標 E	地球環境問題について完全に理解している。	地球環境問題について大体理解している。	地球環境問題について部分的には理解している。	地球環境問題について理解がやや不足している。	地球環境問題について理解していない。				
【教科書】 使用教科書「衛生学・公衆衛生学」、その項目ごとに必要な資料をプリントとして配付する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		予防指導 2			年度	2025
英語表記		Preventive guidance 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	細菌感染症①	細菌感染症の基礎・細菌感染症の種類・腸内細菌感染症・嫌気性菌感染症について。	1 細菌の分類	球菌、桿菌、らせん菌、グラム染色、嫌気性菌について理解する。	3	
			2 グラム陽性とグラム陰性	黄色ブドウ球菌、連鎖球菌、髄膜炎菌、淋菌について理解する。		
			3 腸内細菌と嫌気性菌	0-157、サルモネラ、破傷風、ボツリヌスについて理解する。		
2	細菌感染症②	抗酸菌感染症・その他の細菌感染症について。	1 結核について	再興感染症、世界の三大感染症について理解する。	3	
			2 コレラ菌	経口感染、輸入感染症について理解する。		
			3 百日咳	特有の発作について理解する。		
3	細菌感染症③	クラミジア感染症・リケッチア感染症・スピロヘータ感染症について。	1 クラミジア感染症の3つの型	オウム病、トラコーマ、単径リンパ肉芽腫について理解する。	3	
			2 リケッチア感染症の代表	発疹チフスとツツガムシ病について理解する。		
			3 スピロヘータ感染症の代表	梅毒について理解する。		
4	細菌感染症④	原虫感染症・寄生虫感染症・真菌感染症について。	1 原虫感染症の代表	アメーバ赤痢、マラリア、トキソプラズマについて理解する。	3	
			2 寄生虫感染症の代表	アニサキス、フィラリア、エキノコックスについて理解する。		
			3 真菌感染症の代表	深在性カンジダ症、ニューモシスチスカリニ肺炎について理解する。		
5	感染症予防対策	感染症法について。	1 1類～5類感染症	対象疾患について理解する。	3	
			2 指定感染症	対象疾患について理解する。		
			3 検疫感染症	対象疾患について理解する。		
6	感受性宿主対策	特異的予防手段について。	1 ワクチンの種類	弱毒生ワクチンと不活化ワクチンについて理解する。	3	
			2 予防接種の種類	勧奨接種と任意接種について理解する。		
			3 予防接種法	A類疾病とB類疾病について理解する。		
7	消毒①	消毒方法の分類①について。	1 消毒の意義	院内感染について理解する。	3	
			2 用語の説明	滅菌、消毒、防腐について理解する。		
			3 理学的消毒法	日光消毒、紫外線消毒、低温消毒法について理解する。		
8	振り返り	前期1回～7回の振り返り。	1 細菌～真菌感染症	黄色ブドウ球菌～カリニ肺炎について理解する。	3	
			2 感染症法と予防接種法	1類～5類感染症とA類・B類疾病について理解する。		
			3 消毒用語と理学的消毒法	各用語、日光消毒～低温消毒について理解する。		
9	消毒②	消毒方法の分類②について。	1 理学的消毒法	煮沸法～火炎滅菌法について理解する。	3	
			2 化学的消毒法の分類	高水準～低水準消毒薬について理解する。		
			3 高水準消毒薬の代表	グルタラル、フタラル、過酢酸について理解する。		
10	消毒③	消毒方法の分類③について。	1 中水準消毒薬	次亜塩素酸ナトリウム、エタノール、ポピドンヨードについて理解する。	3	
			2 低水準消毒薬	第4級アンモニウム塩、グルコン酸クロルヘキシジンについて理解する。		
			3 エンベロープについて	エンベロープの特徴について理解する。		
11	消毒④	消毒方法の分類④について。	1 消毒方法について	清拭法、浸漬法について理解する。	3	
			2 手指の消毒法	機械的清拭法、化学的清拭法について理解する。		
			3 標準予防策	第1段階、第2段階について理解する。		
12	環境衛生①	環境問題①について。	1 世界人口の急増	人口爆発、食糧自給率について理解する。	3	
			2 地球環境の温暖化	温室効果ガスについて理解する。		
			3 再生不能資源の枯渇	再生可能エネルギーについて理解する。		
13	環境衛生②	環境問題②について。	1 熱帯林の消失と生物種の減少	ワシントン条約、砂漠化について理解する。	3	
			2 酸性雨	酸性雨の原因について理解する。		
			3 オゾン層破壊	CFC系フロンについて理解する。		
14	振り返り	第9回～13回講義の振り返り。	1 消毒薬の分類	高・中・低水準消毒薬について理解する。	3	
			2 標準予防策	第1段階、第2段階について理解する。		
			3 地球環境問題	人口爆発、温暖化、酸性雨、オゾン層破壊について理解する。		
15	総まとめ	後期第1回～第14回講義の総括について。	1 各種病原体	細菌、原虫、寄生虫、真菌について理解する。	3	
			2 感染予防関連法規	感染症法、予防接種法について理解する。		
			3 地球環境問題	人口爆発、温暖化、酸性雨、オゾン層破壊について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、56. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等